

講座の目的：統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用役に立てる

開 講 日：令和4年6月7日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、大学教授等、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員

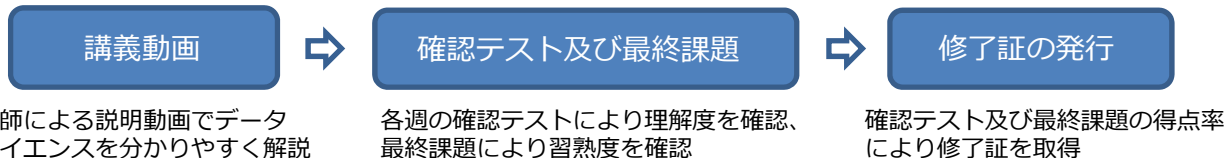


週	各週のテーマ	内 容
1	統計データの活用	豊富な分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方・データの見方の基本的な考え方を学ぶ（データサイエンスとは、M字カーブの改善効果、国際比較データから日本社会を読み解く等）
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎的な理論を学ぶ（代表値、分散・標準偏差、関係の見方・相関係数、回帰分析、標本分布等）
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ（比率の見方、時系列データの見方等）
4	公的データの使い方とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う（公的データの入手方法、e-Stat <sup>※1</sup> や統計ダッシュボード <sup>※2</sup> の使い方、コースのまとめ等）

※1 政府統計の総合窓口

※2 主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく簡単に利用できる形で提供するWebサイト

### ▶ 講座の流れ



### ▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p><b>「社会人のためのデータサイエンス入門」</b></p> <p>(講座の特徴) データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開 講 時 期) 平成27年3月、11月 平成28年3月<sup>※</sup>、12月 平成29年5月<sup>※</sup> 平成30年5月、11月<sup>※</sup> 平成31年4月<sup>※</sup> 令和元年10月、12月<sup>※</sup> 令和2年5月、9月<sup>※</sup>、12月<sup>※</sup> 令和3年5月、9月<sup>※</sup></p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約144,000人が受講</p>	<p><b>「社会人のためのデータサイエンス演習」</b></p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成28年4月、11月<sup>※</sup> 平成29年11月 平成30年6月<sup>※</sup> 令和元年5月、10月<sup>※</sup> 令和2年9月 令和3年9月、12月<sup>※</sup></p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～6回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約57,000人が受講</p>	<p><b>「誰でも使える統計オープンデータ」</b></p> <p>(講座の特徴) 公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ</p> <p>(開 講 時 期) 平成29年6月、10月<sup>※</sup> 平成30年12月 令和2年1月 令和3年1月、5月<sup>※</sup> 令和4年1月、5月<sup>※</sup></p> <p>(学 習 時 間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実 績) 社会人を中心に延べ 約35,000人が受講</p>
--	---	---

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座